

総合開会式で県勢の寄せ書き入りの横断幕を披露する久田智佳子さん＝4日、福島県会津若松市の會津風雅堂



「笑顔が明日変える」

高文祭開幕 久田さんの幕披露

【福島で知念征尚】福島県で第35回全国高校総合文化祭は4日、会津若松市で総合開会式が開かれた。沖縄からは那覇商業高校の久田智佳子さん（3年）が参加し、「『イチヤリバチョーデー』で心を一つに、みんな笑顔が明日を変えよう。その笑顔が明日を変えよう」とあいさつした。

初開催の自然科学部門では八重山商工高校生物部の「アンパルに生息するシテナシジミの研究3」が4位に相当する奨励賞を受賞した。将棋部門では男子個人で首里高校の宮城秀行君（3年）と女子団体で昭和薬科大付属高校の新城咲希さん（3年）、宮國絵理奈さん、村井志帆さん（以上2年）がそれぞれ予選を勝ち抜き決勝トーナメントに駒を進めたが、1回戦で敗退した。宮城君はベスト16、女子団体は5位に輝いた。

開会式に出席した久田さんは「がんばろう福島」のメッセージとともに県勢から募った寄せ書き入りの横断幕を掲げた上で「（福島の復興を）沖縄からも応援しています」と思いを伝えた。横断幕は開会式終了後、実行委員会に手渡した。

生徒実行委員会の遠藤顕雄会長（福島県立安積高校3年）は「私たちのエネルギーとパワーで日本を元気にしていきましょう」と呼び掛けた。